

サステナブルな未来のために 私たちができること

世界人口は80億人を超え続けており、2050年頃には人口増加に伴う食糧問題や気候変動の影響がさらに深刻化することが予測されています。

一方、日本では超高齢社会や都市一極集中といった問題が起きると見込まれています。こうしたなか、多くの人や企業、自治体が「地球にも、人にも優しいサステナブルな未来」を目指した活動に取り組んでいます。

ニッポン火腿グループも、幅広いパートナーと共創しながら、地球環境と調和し、楽しく、健やかに暮らせる未来の実現に向けて、さまざまな施策を進めています。

さまざまな人々が
集い、交流する
持続可能な
まちを共創

プラスチック使用量の
削減に向けた
商品包装の
進化

ニッポン火腿グループの取り組み

持続可能な
畜産業の実現に向けた
カーボン
ニュートラル農場
への挑戦



サステナビリティ
戦略

Goal

人々の楽しく健やかな
暮らしに貢献し、
生命の恵みを育む
地球環境との
調和を目指す

取り組み

プラスチック使用量の削減に向けた 商品包装の進化

食品ごとに適切に包装をしないと、カビが生える、袋に穴が開くなど、食品を安全にお客様に届けることができなくなってしまふため、商品包装は食品の安全や鮮度を保つためには欠かせません。一方で、消費後はごみになるため、ニッポンハムグループでは、資源の有効利用、プラスチック使用量削減のために、商品の品質を確保しながら、商品包装を見直すためのチャレンジを続けています。

商品包装の資源削減は 20年以上前から!

ニッポンハムグループは、「森の薫り®」のフィルム薄肉化や「アンティエ」の底材薄膜化など、20年以上に渡ってプラスチックをはじめとする商品包装を削減することに取り組んでいます。



「シャウエッセン」®の断髪、 それは進化の象徴!



販売量あたり1年間のプラスチック使用量

28% カット!

シャウエッセン®は、従来の巾着部分に当たる“まげ”を断髪したことで、包装資材重量は28%カット※1となり、1年間で248トン※2ものプラスチック使用量を削減することができました。

テープ幅も
カット!



さらなるプラスチック削減を目指し、主力ソーセージ商品「シャウエッセン®」「豊潤」「ウイニー」「森の薫り®」は、販売の際に2袋を束ねるバンドルテープの縦幅も18mmから15mmに縮小しました。

※1 シャウエッセン®127gx2束 旧包材の比較 ※2 2022年2月1日～2022年12月10日までの販売実績をもとに算出

新包装
(ノントレイ)

旧包装
(プラスチック
トレイ)

「中華名菜」シリーズ

脱プラスチックを加速する “ノントレイ” という発想

「中華名菜」シリーズの一部では、商品を支えるために入れていたトレイをなくし、半年間で包材のプラスチック使用量を19.3%、重量にして約111トン※削減しました。(旧包材との比較)

※ 豚豚、八宝菜、青椒肉絲、回鍋肉4品の
2022年10月1日～2023年3月31日の販売実績をもとに算出



「石窯工房」シリーズ

小さなトレイに隠された 大きな挑戦!

チルドピザ「石窯工房」シリーズでは、製品を乗せているトレイのサイズを小さくすることで、プラスチック使用量を2.4%削減しました(旧トレイとの比較)。また、商品を手にとったお客様に取り組みが伝わるよう、ECO包装ラベルを添付しています。



新ストロー

自社工場製造飲料

サステナブルなストローで 心も、地球も豊かに!



「のむバニラヨーグルト」「とろけるラッシー マンゴー」などのすべての自社工場製造飲料は、付属のストローを通常のプラスチックから、環境に配慮してつくられたバイオマスポリエチレンを5%使用したストローへ変更しました。

その他のプラ削減
取り組み



「ウイニーミニ」
(包材削減)



「奏」シリーズ
(プラスチックから
紙トレイへ変更)



「極み焼」
和風おろしハンバーグ」
(トレイサイズダウン)

取り組み

さまざまな人々が集い、交流する 持続可能なまちを共創

北海道ボールパークFビレッジ(以下、Fビレッジ)は、2023年3月に開業して以来、ファン、パートナー、地域の皆様と一緒に、地域社会の活性化や社会への貢献につながる“共同創造空間”を目指しています。開業初年度から食とスポーツを核にさまざまな活動に取り組んでおり、今後もパートナーとの共創を深めながら、持続可能なまちづくりを進めていきます。

Fビレッジ 街づくりのあゆみ

2023年3月
開業



2023年10月
地元大学との基本合意を締結

東日本学園 北海道医療大学とFビレッジ内へのキャンパス移転などについて基本合意を締結しました。Fビレッジの都市公園としてのあり方や災害時における連携協力などを始め、魅力あるまちづくりの実現に向け、協力していきます。

New!



2024年6~8月
メディカルモールと高齢者賃貸住宅が開業

メディカルモール「Fビレッジ メディカルスクエア」と、アクティブシニア向けレジデンス「マスターズヴェラス北海道ボールパーク」が開業しました。Fビレッジ全体や周辺地域にも安心をもたらし、子どもから高齢者まで、あらゆる年齢の方々の健康維持と地域医療への貢献を目指して運用しています。

©H.N.F.



Next!

2028年夏(予定)
新駅開業



©H.N.F.

球場から全国へ!

フードホール限定で販売中の「シャウエッセン
ホットドッグ」を約2ヶ月かけてキッチンカーで日本を縦断することで、普段食べられない球場グ
ルメを全国の皆様に届けました。



期間限定イベントで 全国の食を!

北海道肉祭り2024と題して、「ザンから祭りby桜姫」と「十勝肉祭り」を開催したり、ファイターズ超夏祭りにて「シャウエッセン®」を配布するなど、北海道にとどまらず、全国のグルメをFビレッジで楽しんでいただく企画を催しています。

“食”の発信基地 としても活動!

Fビレッジは球場イコール観戦だけではない“自由な楽しみ方”ができ、誰もが来なくなるワクワクと感動を与え続けられる今までになかったような街づくりを目指しています。その大きな要素の一つとして、食の発信基地も兼ね備えています。

bon appetit



常にさまざまな ジャンルの料理が 楽しめる七つ星横丁

七つ星横丁では全国各地から厳選したさまざまなジャンルの飲食店が集まっており、家族や友人など多様なシーンで楽しむことができます。



EAT!!



取り組み

持続可能な畜産業の実現に向けた カーボンニュートラル農場 への挑戦

ニッポンハムグループは安全で質の高い「たんぱく質の安定供給」を目指し、限りある資源を大切に活かして持続可能な畜産業を支えています。

その取り組みの一つとして、燃料・電力の使用や家畜飼育時に排出される温室効果ガスを実質的にゼロにした農場、いわゆる"カーボンニュートラル農場"へ挑戦しています。

燃料・電力由来の温室効果ガスに対しては、太陽光発電によるエネルギー自給やエネルギー利用の効率化を推進し、家畜由来の温室効果ガスについても日本国内における畜産農業と関連するカーボンクレジットの活用を検討しながら、実質ゼロを目指します。持続可能な畜産への第一歩として、2026年の稼働を目標に取り組みを進めていきます。



農場での温室効果ガス発生源

燃料

- 豚舎暖房
- 豚輸送車両 など

電力

- 大型ファン
- 浄化槽設備 など

家畜

- おなら
- ふん尿処理 など